

組織・器官系の構造と機能Ⅱ

Morphology and Function of Tissue and Organs Ⅱ

単位数：5単位

○織田禎二 教授：循環器・呼吸器外科学 田邊一明 教授：内科学第四
遠藤昭博 准教授：循環器内科 林田健志 講師：形成外科

1. 科目の教育方針

組織・器官系の構造と機能Ⅱの講義・演習では、循環器や運動器の構造や機能について、それぞれの構造や機能の特異性、特性、年齢的变化や疾患について学び、これらの理解から導き出される疾患の治療法や健康増進のための予防法について学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 循環器（心臓、大血管、末梢血管）のうち、特に心臓の構造と機能について理解する。
- 2) 循環器疾患、特に心不全の診断と治療について理解する。
- 3) 循環領域における血管の役割について理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 心不全の病態解明、外科治療法を説明できる。
- 2) 心不全のステージ分類、治療について説明できる。
- 3) 血管の構造と機能について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) 心機能 収縮のメカニズムと評価法：篠山重威、中外医学社(1988)
- 2) Cardiac Contraction and the Pressure-Volume Relationship. Kiichi Sagawa, Lowell Maughan, Hiroyuki Suga, Kenji Sunagawa. Oxford University Press (1988)
- 3) Braunwald's Heart Disease. Saunders (2008)
- 4) 急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）
https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2017/06/JCS2017_tsutsui_h.pdf
(日本循環器学会 HP)

5) 2021年度 JCS/JHFS ガイドラインフォーカスアップデート版 急性・慢性心不全診療
(日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン)

https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Tsutsui.pdf

6) 2021年改訂版 重症心不全に対する植込型補助人工心臓治療ガイドライン(日本循環器学会/日本心臓血管外科学会/日本胸部外科学会/日本血管外科学会合同ガイドライン)

https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Ono_Yamaguchi.pdf

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	心臓の構造と機能 1	織田禎二
2	心臓の構造と機能 2	織田禎二
3	心臓の構造と機能 3	織田禎二
4	血管の構造と機能 1	林田健志
5	血管の構造と機能 2	林田健志
6	血管の構造と機能 3	林田健志
7	心臓弁膜の構造と機能 1	織田禎二
8	心臓弁膜の構造と機能 2	織田禎二
9	心機能	田邊一明
10	心疾患の症候	田邊一明
11	心不全の病態 1	田邊一明
12	心不全の病態 2	田邊一明
13	心不全の診断	田邊一明
14	心不全の治療 1	遠藤昭博
15	心不全の治療 2	遠藤昭博